

▼イジユト点滴静注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】トレメリムマブ（遺伝子組換え） Tremelimumab（Genetical Recombination） 【分類】抗悪性腫瘍剤〔ヒト型抗ヒトCTLA-4モノクローナル抗体〕

【単位】▼25mg/V（1.25mL）・▼300mg/V（15mL）

【常用量】

■切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌：デュルバルマブおよび白金系抗悪性腫瘍剤との併用で、1回75mgを3週間間隔で4回点滴静注し、その後7週間の間隔を空けて75mg

■切除不能な肝細胞癌：デュルバルマブとの併用で、単回300mg〔体重30kg以下では4mg/kg〕

【用法】60分以上かけて点滴静注

生食または5%ブドウ糖輸液に混注し、final 0.1～10mg/mL（インラインフィルター使用）

【透析患者への投与方法】

【保存期CKD患者への投与方法】

【特徴】ヒト細胞傷害性Tリンパ球抗原-4（CTLA-4）に対する抗体で、CTLA-4とそのリガンドである抗原提示細胞上のB7.1（CD80）及びB7.2（CD86）分子との結合を阻害することにより、活性化T細胞における抑制的調節を遮断し、がん抗原特異的なT細胞の増殖、活性化及び細胞傷害活性の増強により腫瘍増殖を抑制する

【主な副作用・毒性】間質性肺疾患、重度の下痢、消化管穿孔、甲状腺機能障害、副腎機能障害、下垂体機能障害、筋炎、膵炎、心筋炎、脳炎、Infusion reaction, SJS、神経障害など

【安全性に関する情報】

【F】

【tmax】

【代謝】異化される（1）

【排泄】未変化体は排泄されない（1）

【CL】0.295L/day（1）

【t1/2】3週間程度（1）

【蛋白結合率】該当しない（1）

【Vd】約3L/body（1）

【MW】14.9万

【透析性】除去されない（5）

【O/W係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児CKD患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】20240822

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。